

令和2年度～令和3年度

医療機関における電波利活用推進のための 取組事例集 II

(ヒヤリハット事例編)

令和4年6月

はじめに

本事例集は、全国11地域に所在する総務省総合通信局が主催する「医療機関における電波利用推進協議会」(一部地域では名称が異なります)における活動の一環として、医療機関における電波利用に関し、これまでご経験された各種の事象について、各地域の医療機関からお寄せいただいた事例を取りまとめたものです。

各医療機関において、同様の事象が発生した際のご参考としていただくとともに、電波を利用する医療機器を安心・安全にご利用いただくための留意事項としてご参照いただけますと幸いです。

なお、医療機関における電波管理については、電波環境協議会の「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」及び「医療機関における「電波の安全利用規程(例)」」、周知啓発用資料も併せてご参照ください。

電波環境協議会ホームページ：<https://www.emcc-info.net/>

医用テレメータに関する不具合事例 ... 3

無線LANに関する不具合事例 ... 6

医用テレメータに関する不具合事例

他施設からの医用テレメータへの干渉

医療機関名： 匿名

事例の内容	1年ほど前の深夜帯、当該テレメータを使用していた患者がお亡くなりになられたため、テレメータの電源を切り、外したところ、セントラルモニタに心電波形が表示された。
対応状況	翌日、院内全てのテレメータのチャンネルを確認したが問題なし。隣の施設(介護老人保健施設)に問い合わせたところ、テレメータを使用しているとのこと。使用しているテレメータのチャンネルを確認すると、当該テレメータと同じチャンネル番号であったため、当該テレメータのチャンネルを変更した。

医用テレメータの受信不良

医療機関名： 匿名

事例の内容	2階病棟が東と西に分かれていたが、病棟が統合され、受信機も移動した結果、受信状態が悪くなった。
背景・要因	医用テレメータから受信機までの距離が遠くなった。
具体的な解決方策	工事予定。

無線LANに関する不具合事例

ポケット型Wi-Fiからの生体情報モニタシステムへの干渉

医療機関名： 独立行政法人 国立病院機構 南九州病院

事例の内容	患者が病室でポケット型Wi-Fiを使用したことで、生体情報モニタシステムの中継器に障害が発生し、ナースステーション内でSpo2と脈拍のモニタリングができなくなった。障害は日曜日の3時から16時まで発生し、原因を特定するまで時間を要した。
背景・要因	当該病棟に導入している生体情報モニタシステムは、2.4GHzの周波数で病室とナースステーションを無線通信している。途中で電波が途切れないよう病棟内に5台の中継器を分散設置しており、当該患者の病室前にも1台設置してあった。患者が持ち込んだポケット型Wi-Fiは、契約している携帯電話会社より医療機関での使用も問題ないと説明を受け使用されていたが、結果的に病室内の中継器が誤動作を起こし複数名のモニタが使用出来なくなった。
対応状況	ポケット型Wi-Fiの持ち込みを禁止し、フリーアクセスWi-Fiを整備。
措置状況を踏まえた気づきの点等	電波を発する情報通信機器を使用することで、医療機器に誤動作を与える可能性があることが、世間一般的に認識されていない。